

鳥栖ジャンクションにバス駅設置と新幹線鳥栖駅との直結を！

15年度提案に、高速道路鳥栖ジャンクションにバス駅を設置することが提案された。
(以下バス駅という)

やがて、新幹線の鳥栖駅が誕生する。新幹線の乗客は鳥栖駅で下車してからは、多くがバス利用者となるだろう。新幹線鳥栖駅を始発とする観光目的のバス系ネットワークも計画中とか聞いている。その一環として、バス駅とピストン輸送するバス便を運行する。

東西南北から集まるバスの乗客が、鳥栖バス駅で一時下車して、希望方向へのバスが来るまで待つ。あわせて、新幹線乗客をバス駅から九州各方面に分配する。

アジア各地から空の便での福岡空港入りした観光客が、空港から鳥栖バス駅への直行便を出すことで、九州各地に分配することもできよう。

要するに、空港で、九州各地の多方面に分配するバスを準備するのではなく、鳥栖バス駅に集中させる。空港系、高速系、新幹線系がすべて、鳥栖バス駅からバス系で九州各地の行楽地等に向かうのである。

鳥栖バス駅が、九州各地へのディストリビューターとしての役割を果たすことができるようになると、文字通り鳥栖が九州のかなめの位置で機能を果たすことになっていく。

鳥栖市周辺を交通というキーワードで特徴づけるようにしたい。

そこで付随的に、道の駅兼バスターミナルとしての鳥栖バス駅だけでなく、交通博物館、または交通公園の設置なども考えられよう。

ちなみに、想定する「交通博物館（交通公園）」とは、

1. 古代から現代までの交通手段の展示
2. 車その他運転訓練場
3. 車などの販売
4. 駅伝・宿場の設置、一里塚の見本…。にぎわいの広場 etc.

